L&M™ CURE

コンクリート養生剤
L&M キュア

生コン打設後の養生が品質を左右します！

ひび割れ低減・品質向上に
湿潤養生に代わる塗布するだけの水系養生剤

機能/利点
- 後の仕上に影響しない
- 浸透系で表面に残留しない
- コンクリートに染み跡が残らない
- 無臭
- 未使用の場合と比べ圧縮強度が向上
- 噴霧器とローラーで簡単に施工できる

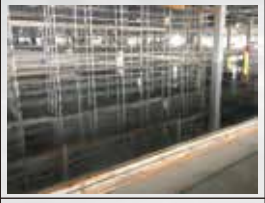
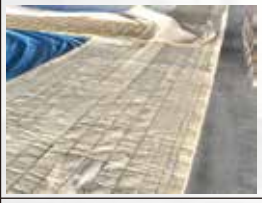
L&M CURE(キュア)は、原液のまま使える非残留性のコンクリート養生材です。
水性のスプレー可能な透明の液体で、残留物が生じません。
無臭性で、改修工事やトンネル、煙突など無臭性が不可欠な、通気口の無い場所での使用に適しています。水平面だけでなく立上面のコンクリートにも容易に塗布できます。

MAID IN USA

L&M CURE(キュア)は、非残留性で養生ムラになりにくく、**シールハード／ケムハード**など素地仕上とする床の、コンクリート打設後の養生におすすめです。

シールハード／ケムハードなどの L&M浸透性強化剤採用物件に最適!

主な湿潤養生方法の比較

種類	止水養生（プール養生）	散水養生	湿潤シート（マット）養生	ビニールシート（ポリフィルム）養生	L&M CURE キュア 養生剤（非被膜型）
内容	端部に堰を作り、コンクリート表面に浅く水を溜めて養生する方法 	コンクリート表面に直接水を散布し、常に湿潤状態を保つ方法	コンクリート表面を吸水性のあるシート（スポンジ・不織布等）で覆い、その上から散水する方法 	コンクリート表面をビニール系のシートで覆い、水分蒸発を防ぐ方法	養生剤（キュアリングコンパウンド）を散布し、水分の蒸発を抑える方法
メリット	・水中養生となるため湿潤状態を長期間維持できる最も養生効果の高い方法	・水を撒くだけの簡単な方法 ・安価	・水分保持能力が高く、散水頻度を減らせる ・工期が許す限り長期間養生できる	・敷設時にシート内に散水することで追加の散水が不要 ・比較的に施工が簡単 ・工期が許す限り長期間養生できる	・作業が簡単で、特に大面積の施工に適している ・ローラーで均質に塗布することで、散水養生で発生する水溜り痕や色斑が発生しない ・浸透性表面強化材（シールハード／ケムハード）で仕上げるコンクリート床に適している
デメリット	・広い範囲に水を溜めるため、水の堰き止めや排水管理が難しく、広い床面には不向き ・手間が多く、実施の現場では採用が難しい ・堰き止め用資材は廃棄になる場合がある	・こまめな散水が必要で、特に夏場は頻度を増やす必要がある ・床の不陸による水たまり痕、部分白華が発生しやすく、仕上り後の見栄えに影響する ・冬場は凍結を起こす可能性がある 散水ムラによる色斑・白華	・風でシートがめくれやすいため、固定が必要 ・養生用シート資材の運搬や撤去作業なども発生し、比較的にコストがかかる ・使い終わった湿潤シート(マット)は撤去の上、廃棄となる 使い終わったら大量の廃棄材に	・気泡跡、シートしわ跡が残りやすく、それを防ぐために、しわ伸ばし作業が発生 ・シートが軽いため、めくれやすく、隙間から水分が蒸発しやすい ・使い終わったビニールシートは撤去の上、廃棄となる シートめくれ・気泡・しわによる色斑	・非被膜型のため養生効果は3～7日間程度 ・塗布量が多すぎると白華が発生する
養生効果	◎	△～○ ※散水頻度による	◎	○	○
採用しやすさ 費用対効果	×	○	△	○	◎

Goodfloor ぐっどふろあ
日本に「いい床」を提供します
http://goodfloor.jp
L&M Construction Chemicals

コンクリートの品質を高める非残留性のコンクリート養生剤

おすすめ適用場所

浸透性強化材(シールハード／ケムハード等)を使用し素地仕上とする床コンクリート

・物流施設 ・商業施設 ・公共施設 ・工場等の産業施設
・住宅外構コンクリート ・スケートパーク

物流施設

工場

商業施設

公共施設

住宅外構

スケートパーク

物性・特性

項 目	適 用
色	透 明
粘 度	水と同等
浸透の深さ	最大3mm程度
施工可能温度	4℃以上
乾燥時間	4時間

基本的な使用法

施工前にキュアをよく攪拌してください。
最終の鏝(こて)仕上が終わり、歩行可能になったできるだけ早いタイミングでコンクリート表面に均一に塗布します。
所定の割合で噴霧した後、液溜をつくらないようにローラー等で均一に塗布します。密閉空間や湿度の高い場所、通期の悪い場所で塗布する場合は、適度な換気を行ってください。塗布後4時間以内に乾燥しない場合は過剰塗布です。その場合はすぐに水で洗い流し、スクイージーやスポンジなどで余剰分を除去してください。

噴霧器で散布

ローラーで塗布

おおよその施工可能面積

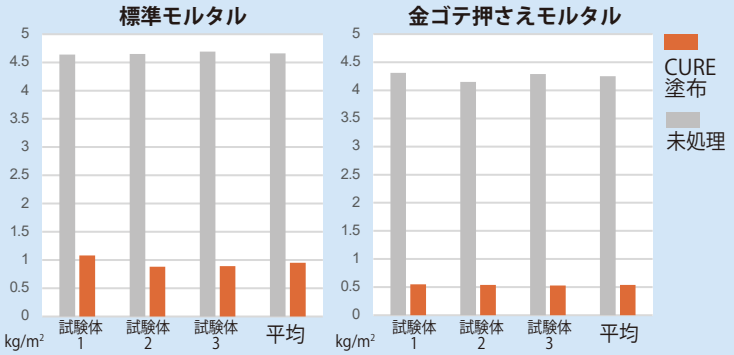
仕 上	おおよその施工可能面積
刷毛引き、ホウキ目	5～8㎡/L (95～152㎡/缶)
金ゴテ押えコンクリート	7～10㎡/L (140～200㎡/缶)
機械式鏝押えコンクリート	7～15㎡/L (140～285㎡/缶)
騎乗式鏝押えコンクリート (鏡面仕上)	10~18㎡/L (190~350㎡/缶)

上記はあくまでも目安です。実際の塗布量はコンクリートの状態、施工時の環境により異なります。必ず塗布時に液溜りができないように均質にローラー等で伸ばしてください。

キュアを塗布しすぎると、状況により床面が白華することがありますので、塗布量や塗布後の乾燥状況にご注意ください。

性能試験データ

ASTM C 156：硬化養生剤による水分損失試験
モルタル試験体打設後 CURE塗布 72時間後の水分損失量



各3検体の平均

	標 準	金ゴテ押さえ
未処理	4.66kg/m2	4.25kg/m2
CURE使用	0.95kg/m2	0.54kg/m2
水分損失比	79.6%減	87.3%減

製品名	L&M CURE（キュア）
メーカー名	LATICRETE International, Inc. ラティクリート・インターナショナル社（米国コネチカット州）
荷 姿	5ガロン（約18.9ℓ）ペール缶入
使用方法	コンクリート打設後、表面の水が引いた後に規定量を噴霧しローラー等で液溜りができないよう均一に塗布します。 塗布量・塗布回数はコンクリート表面状況などにより調整します。
提供方法	材料販売 または、認定施工店による責任施工にて提供

E-CONとの併用をおすすめします!

コンクリート打設補助剤
／硬化前コンクリート用蒸発抑制剤
L&M E-CON

パンフレット
PDFダウンロード

＜使用例＞

コンクリート打設・粗均し
↓
木ゴテ押え
↓
E-CON　CON押え時の蒸発抑制、コテ切れ改善・硬化遅延、押え時間確保として、E-CONを散布
↓
金ゴテ（機械式コテ）押さえ
↓
CURE　打設翌日、水和反応が進み水分蒸発による乾燥収縮が進む前にCUREを塗布
↓
カッター入れ

L&M AQUAPEL PLUS 製造元

LATICRETE International, Inc.
One LATICRETE Park North, Bethany, CT
06524-3423 USA
https://laticrete.com

日本に「いい床」を提供します
Goodfloor ぐっどふろあ
http://goodfloor.jp
ぐっどふろあ　検索

2503-GF版

L&M CUREは、ラティクリート・インターナショナル社によってライセンスを付与された正規取扱店により販売いたしております。

ウィルビー㈱ 建材事業本部	https://will-b.jp	☎076-237-7667
シーゲイト㈱	http://c-gate.jp	☎045-392-7810
㈱プラクティス	https://practice-jp.com	☎088-840-2091
常盤工業㈱ 建設事業部	https://tokiwakogyo.co.jp	☎03-5361-8989

C-Gate
シーゲイト株式会社
〒247-0007
神奈川県横浜市栄区小菅ケ谷4-28-19
TEL:045-392-7810
URL:http://www.c-gate.jp/